

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1970800866	
法人名	特定非営利活動法人 ふるさと	
事業所名	グループホーム ふるさと敷島	
所在地	山梨県甲斐市大下条425番地1	
自己評価作成日	平成27年10月12日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会	
所在地	甲府市北新1-2-12	
訪問調査日	平成27年10月29日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が穏やかに安心して暮らせる環境づくりを・・・と日々考え共に生活しています。ホールから見える中庭に季節の花や野菜を植え水やりをして役割を持つ方、トマトの実が日に日に赤くなるのを楽しみに待つ方などそれぞれの思いやできる事を大切に笑顔や会話のきっかけになるよう、日常生活の中に小さな工夫を取り入れています。事業所が開設し12年目になりますが10年選手の職員が半数以上おり、利用者様との馴染みの関係を保ちながら安心できる環境づくりにつなげています。利用者様やご家族の思いを大切に支援させていただいています。

JR竜王駅周辺は再開発で整備され、駅の北に位置する事業所は近くに大型ショッピングセンターやホームセンターのオープンし、活性化された住宅街の中にある。平成23年12月に移転してきた事業所は木造平屋建でデイサービスと併設されている。また、敷地内には認知症専門の診療所があり週3回診療日となっている。事業所を一軒の家と考え地域に溶け込み地域との繋がりを大切にして、理念でもある「ちいきにとけあい・いきいきくらし・きごころしれた・なかになる」を実践して利用者の立場に立った支援を心掛けている。事業所開設当初から勤務している職員が多数いて、利用者との信頼関係も築かれ穏やかに日々過ごしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input checked="" type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input checked="" type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

調査シート (自己評価および外部評価用)

事業所名 (グループホーム ふるさと敷島)

自己	外部	項目	自己評価 (実践状況)		外部評価	
			ユニット名 (東)	ユニット名 (西)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域とのつながりを大切にしたい理念があり、全職員が理解し、日々の支援の中で心がけている。	地域とのつながりを大切にしたい理念があり、全職員が理解し、日々の支援の中で心がけている。	事業所独自で作り上げた地域とのつながりを大切にしたい理念が玄関に掲げられている。事業所を一軒の家と考え地域との関係性を重視した理念を管理者と職員は共有して日々の支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	自治会に入っている。季節ごとの行事やお祭りに参加し地域の方々との会話や交流を大切にしている。地域の方のボランティアも多く交流ができています。	自治会に入っている。季節ごとの行事やお祭りに参加し地域の方々との会話や交流を大切にしている。地域の方のボランティアも多く交流ができています。	地域の住民として自治会に加入している。普段から地域との交流があり、お祭りに参加したり、家で採れた柿やお土産など届けてくれる。また、近くの保育園の乳幼児が散歩の途中に寄り利用者や交流したり、フラダンスやオカリナ等ボランティアの訪問があり地域の人達とふれあう機会を作っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	併設しているデイサービスの家族からの相談もあり認知症の方への対応方法などお話ししている。	併設しているデイサービスの家族からの相談もあり認知症の方への対応方法などお話ししている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度運営推進会議を開催している。皆さんから都度、意見をいただき、その内容について職員会議で検討し取り組んでいる。	二ヶ月に一度運営推進会議を開催している。皆さんから都度、意見をいただき、その内容について職員会議で検討し取り組んでいる。	地域の民生委員、利用者家族等が出席し2か月に1回運営推進会議を開催している。事業所からは活動状況等を報告し評価を受けるとともに、必要な要望、意見を出発者から聞いている。家族から出された意見等は職員会議で取り上げ検討し、家族会を通して経過を報告しサービス向上に繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議のメンバーとして参加してもらっている。意見や困っていることなど気軽に相談することができている。	運営推進会議のメンバーとして参加してもらっている。意見や困っていることなど気軽に相談することができている。	市役所の担当者には運営推進会議の議事録を届け、事業所の実情を伝えている。また、担当者から入居者受け入れ等の相談があり、問題解決に向けて一緒に取り組むなど協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束はしない！」という信念を全職員が理解し実施している。継続的に会議や申し送り徹底している。	「身体拘束はしない！」という信念を全職員が理解し実施している。継続的に会議や申し送り徹底している。	職員会議や申し送りで徹底し職員は理解して身体拘束をしないケアの実践をしている。利用者の安全を確保しつつ抑圧感のない暮らしを支援する為、行動を止めてしまう様な言葉は使わないように常に心がけている。気づいた時には職員間で注意し合える関係が出来ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について研修会を行っている。職員全員が危機感を持ち、職員同士で声をかけあい虐待防止に努めている。	虐待について研修会を行っている。職員全員が危機感を持ち、職員同士で声をかけあい虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	権利擁護に関する研修会に参加し、施設内でも勉強会を行っている。実際に後見人制度を活用している利用者様がいる。	権利擁護に関する研修会に参加し、施設内でも勉強会を行っている。実際に後見人制度を活用している利用者様がいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時には、書面と口頭で出来る限りわかりやすく説明している。疑問や不明な点があった場合にはいつでも連絡していただくようご家族に伝え、その際には速やかに対応している。	入所時には、書面と口頭で出来る限りわかりやすく説明している。疑問や不明な点があった場合にはいつでも連絡していただくようご家族に伝え、その際には速やかに対応している。		

自己	外部	項目	自己評価 (実践状況)		外部評価	
			ユニット名 ( 東 )	ユニット名 ( 西 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に苦情の窓口及び意見箱を設置している。公的な相談窓口の連絡先を書面及び口頭で説明し理解していただいている。家族会での意見や面会時の家族の要望について職員会議で検討している。	ホーム内に苦情の窓口及び意見箱を設置している。公的な相談窓口の連絡先を書面及び口頭で説明し理解していただいている。家族会での意見や面会時の家族の要望について職員会議で検討している。	家族会があり出された要望、意見は職員会議で話し合い、改善してケアに取り入れている。話し合いの結果については、郵送または面会時に口頭で家族に伝えている。面会に来た家族には、利用者の日常の様子を伝えて何でも言ってもらえるように配慮している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議を定期的に実施し意見・要望を自由に出し合う機会をつくっている。職員と代表者及び管理者との信頼関係があり、気軽に意見をだせる関係ができている。	職員会議を定期的に実施し意見・要望を自由に出し合う機会をつくっている。職員と代表者及び管理者との信頼関係があり、気軽に意見をだせる関係ができている。	職員会議や日頃からコミュニケーションを図るよう心がけ、問いかけたり、聞き出したりするようにしている。加湿器を使い始めるなど日頃のケアで気が付いた事は取り入れている。代表者は職員の勤務希望など聞き入れて働きやすい環境を確保している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の実績および勤務状況を把握し、給与水準等、向上心を持って働くことが出来るよう職場環境の整備に努めている。	職員の実績および勤務状況を把握し、給与水準等、向上心を持って働くことが出来るよう職場環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会を確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	必要に応じて自主的に事業所内外の研修に積極的に参加するよう促している。研修の内容にかかわらず全て勤務扱いで受講している。	必要に応じて自主的に事業所内外の研修に積極的に参加するよう促している。研修の内容にかかわらず全て勤務扱いで受講している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会の研修などを通し、交流を図り意見交換を行っている。	グループホーム協会の研修などを通し、交流を図り意見交換を行っている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前には本人の思いや不安、要望などゆっくり話を聞いている。新しい環境への不安を少しでも取り除くことができるよう、ゆったりとした時間をつくり工夫している。	入所前には本人の思いや不安、要望などゆっくり話を聞いている。新しい環境への不安を少しでも取り除くことができるよう、ゆったりとした時間をつくり工夫している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人や家族の状況をより細やかに把握し、ご家族の複雑な思いを受け入れるようにしている。出来る限り思いに添う支援ができるよう努力している。特に入所当初は生活状況や体調などこまめに報告している。	本人や家族の状況をより細やかに把握し、ご家族の複雑な思いを受け入れるようにしている。出来る限り思いに添う支援ができるよう努力している。特に入所当初は生活状況や体調などこまめに報告している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の話をよく聞き、管理者・ケアマネジャー・職員が相談内容を確認、把握している。その後、具体的な支援内容を検討しサービスにつなげている。	本人、家族の話をよく聞き、管理者・ケアマネジャー・職員が相談内容を確認、把握している。その後、具体的な支援内容を検討しサービスにつなげている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者様一人ひとりの生活暦や心身状況を把握した上で日々支援している。人生の先輩である利用者様を尊敬し、職員は常に学ぶ姿勢で生活している。	職員は利用者様一人ひとりの生活暦や心身状況を把握した上で日々支援している。人生の先輩である利用者様を尊敬し、職員は常に学ぶ姿勢で生活している。		

自己	外部	項目	自己評価 (実践状況)		外部評価	
			ユニット名 ( 東 )	ユニット名 ( 西 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に 本人を支えていく関係を築いている	利用者様の変化を家族に伝え、常にご家族と 職員が同じ気持ちで利用者様を支えることが できるよう情報交換している。面会時には家 族の時間や空間を大切に過ごしていただける よう心がけている。	利用者様の変化を家族に伝え、常にご家族と 職員が同じ気持ちで利用者様を支えることが できるよう情報交換している。面会時には家 族の時間や空間を大切に過ごしていただける よう心がけている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努め ている	友人や親戚の方々の面会や、一緒に外出を楽 しむことができる支援をしている。	友人や親戚の方々の面会や、一緒に外出を楽 しむことができる支援をしている。	利用者は事業所を家と思いつ馴染みの場所になっ ている。入居前の友人とカラオケに行ったり、家族 の電話の取次ぎをしたりとつながりを継続できる 支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤 立せずに利用者同士が関わり合い、支え合え るような支援に努めている	日常生活のかかわりの中で利用者同士の関係 を把握し、孤立しがちな利用者様には職員が 寄り添い、他の利用者様とのかかわりのきつ かけになるよう支援している。	日常生活のかかわりの中で利用者同士の関係 を把握し、孤立しがちな利用者様には職員が 寄り添い、他の利用者様とのかかわりのきつ かけになるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これま での関係性を大切にしながら、必要に応じて 本人・家族の経過をフォローし、相談や支援 に努めている	退所された方の家族が時々来所し、退所後も ご家族との交流がある。	退所された方の家族が時々来所し、退所後も ご家族との交流がある。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の 把握に努めている。困難な場合は、本人本位 に検討している	日常のかかわりやご家族の話の中から利用者 様の思いや要望をくみとり、職員間で情報を 共有し支援している。	日常のかかわりやご家族の話の中から利用者 様の思いや要望をくみとり、職員間で情報を 共有し支援している。	日ごろの関わりや会話から利用者の思いを汲み取 り把握に努めている。家族からは入居前の暮らし を聞いて情報を得るようにしている。意思疎通が 困難な場合は、表情やしぐさから、それとなく確 認するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生 活環境、これまでのサービス利用の経過等の 把握に努めている	日常生活の会話を通し、馴染みや安心のヒント が得られるよう努めている。過去にサービ ス利用がある方は事業所から情報をいただ き、より深くご本人を理解することにつなげ ている。	日常生活の会話を通し、馴染みや安心のヒント が得られるよう努めている。過去にサービ ス利用がある方は事業所から情報をいただ き、より深くご本人を理解することにつなげ ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有 する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方や心身状況等、 個別に記録し生活リズムや変化等を把握して いる。定期的にカンファレンスを行い「出来 ること探し」に取り組んでいる。	一人ひとりの一日の過ごし方や心身状況等、 個別に記録し生活リズムや変化等を把握して いる。定期的にカンファレンスを行い「出来 ること探し」に取り組んでいる。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあ り方について、本人、家族、必要な関係者と 話し合い、それぞれの意見やアイデアを反 映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族から意見や要望を聞き、その 内容をもとにケアカンファレンスを実施し意 見を出し合っている。一人ひとりの気持ちや 望むことを重視した介護計画を作成してい る。	ご本人やご家族から意見や要望を聞き、その 内容をもとにケアカンファレンスを実施し意 見を出し合っている。一人ひとりの気持ちや 望むことを重視した介護計画を作成してい る。	毎月、利用者のケース会議を全職員で行い、意見 交換やモニタリング、ケアカンファレンスして介 護計画に反映させている。計画の見直しの際に は、家族等の要望、意見を聞き必要な支援を盛り 込んで介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工 夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有 しながら実践や介護計画の見直しに活かして いる。	バイタル・食事摂取量・排泄の記録を行い具 体的な表情や言葉など注意深く観察してい る。職員一人ひとりの気づきを会議で出し合 い、介護計画の見直しにも大いに役立ってい る。	バイタル・食事摂取量・排泄の記録を行い具 体的な表情や言葉など注意深く観察してい る。職員一人ひとりの気づきを会議で出し合 い、介護計画の見直しにも大いに役立ってい る。		



自己	外部	項目	自己評価 (実践状況)		外部評価	
			ユニット名 ( 東 )	ユニット名 ( 西 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々の状況により、ご家族の理解や協力をいただきながら、要望に応じて個別に対応している。施設外離出の可能性がある利用者様に対しては1対1で対応している。	個々の状況により、ご家族の理解や協力をいただきながら、要望に応じて個別に対応している。施設外離出の可能性がある利用者様に対しては1対1で対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の理髪店を利用し顔なじみになり楽しみにしている方もいる。	地域の理髪店を利用し顔なじみになり楽しみにしている方もいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望に応じかかりつけ医を決めていただいている。受診は基本的に家族対応だが、希望や状況に応じ職員が対応している。受診結果は必ずご家族に報告している。	ご本人、ご家族の希望に応じかかりつけ医を決めていただいている。受診は基本的に家族対応だが、希望や状況に応じ職員が対応している。受診結果は必ずご家族に報告している。	利用者、家族のいままでのかかりつけ医や希望の病院へ受診している。かかりつけ医の受診は基本的に家族同行となっているが、必要に応じて受診の付き添いや家族とも同行して普段の様子を伝えるようにしている。受診結果に関する情報は家族に報告し共有している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設の看護と情報交換しながらケアを行っている。	施設の看護と情報交換しながらケアを行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院の際には病院との情報交換をカンファレンスや電話で行い、早期退院や退院後のケアがスムーズに行えるよう、家族を含め都度検討している。	入退院の際には病院との情報交換をカンファレンスや電話で行い、早期退院や退院後のケアがスムーズに行えるよう、家族を含め都度検討している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時や折に触れ、重度化及び終末期についてご家族に希望を聞き、事業所としてできる事、方針をお話している。職員間で勉強会を実施している。	入所時や折に触れ、重度化及び終末期についてご家族に希望を聞き、事業所としてできる事、方針をお話している。職員間で勉強会を実施している。	入居時に重度化や終末期に事業所が対応し得るケアについて家族等に説明を行っている。また、延命措置については文書にして意思確認をしている。利用者や家族の意向を確認しながら終末期の受け入れを関係者と連携して取り組めるよう努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護職員指導のもと、緊急時対応の指導を受け訓練を実施している。	看護職員指導のもと、緊急時対応の指導を受け訓練を実施している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼夜を想定し、緊急連絡網を使い避難訓練を実施している。	昼夜を想定し、緊急連絡網を使い避難訓練を実施している。	年2回、昼と夜間を想定して避難訓練を実施している。職員の連絡網による通報訓練や避難経路の確認を行い利用者と一緒に避難誘導を行っている。警備会社との契約があり緊急時の対応をしている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合わせた言葉かけや対応を全職員が心がけ実施している。入浴や排泄、着衣交換時には特にまわりに気を配りプライバシーを損ねないよう支援している。	一人ひとりに合わせた言葉かけや対応を全職員が心がけ実施している。入浴や排泄、着衣交換時には特にまわりに気を配りプライバシーを損ねないよう支援している。	トイレやお風呂の誘導の際、目立たずさりげない言葉かけをして利用者に配慮した対応を心がけている。利用者の情報を記録した文書等の書類については、取り扱いに注意して事務室の書庫で保管している。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(東)	ユニット名(西)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の話に耳を傾け、出来る限り時間にゆとりを持ち「待つケア」を心がけ実践につなげている。	利用者様の話に耳を傾け、出来る限り時間にゆとりを持ち「待つケア」を心がけ実践につなげている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出や個別対応などご本人の希望に沿った時間やタイミングでの支援を心がけている。お盆には居室に盆飾りをして職員と一緒に迎え火をたきご先祖様を迎える方もいる。	外出や個別対応などご本人の希望に沿った時間やタイミングでの支援を心がけている。お盆には居室に盆飾りをして職員と一緒に迎え火をたきご先祖様を迎える方もいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様のこだわりを大切にしながら支援している。	利用者様のこだわりを大切にしながら支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりに合わせた食事を提供し、職員も同じテーブルで会話をしながら食べている。テーブルを拭いたり、茶碗の片付けなど個々の力に応じて一緒に行っている。	一人ひとりに合わせた食事を提供し、職員も同じテーブルで会話をしながら食べている。テーブルを拭いたり、茶碗の片付けなど個々の力に応じて一緒に行っている。	食事のメニューは利用者の希望を聞いて決めている。食材は週2回職員が買いに行き、不足の食材がある時は利用者と一緒に買い物に行っている。調理は併設しているデイサービスのキッチンで調理専門職員が作り、事業所ではお湯を沸かし、ご飯を炊いて匂い等で食事への関心を引き起こしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりにあった食事量、食事形態を提供している。食事量、水分摂取量は職員が把握している。その日の状態や気候等により量や内容など工夫し支援している。	一人ひとりにあった食事量、食事形態を提供している。食事量、水分摂取量は職員が把握している。その日の状態や気候等により量や内容など工夫し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、義歯の洗浄、管理をしている。定期的に歯科医による訪問受診、口腔ケアの指導をしていただいている。	毎食後、口腔ケアを行い、義歯の洗浄、管理をしている。定期的に歯科医による訪問受診、口腔ケアの指導をしていただいている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックを行い、一人ひとりの排泄パターンを全職員が把握している。誘導時間を検討工夫し、無理なく快適に排泄できるよう支援している。	排泄チェックを行い、一人ひとりの排泄パターンを全職員が把握している。誘導時間を検討工夫し、無理なく快適に排泄できるよう支援している。	利用者毎の排泄チェック表で時間を把握して誘導し、トイレで排泄できるよう支援している。自立してトイレで排泄できる利用者はリハビリパンツから布パンツにと、一人ひとりについて常に見直しながら利用者に合わせて検討している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防も含め、毎日体操を行っている。毎晩ヨーグルトを提供し、繊維食材を活用した食事提供を工夫している。必要に応じ主治医に相談し対応している。	便秘予防も含め、毎日体操を行っている。毎晩ヨーグルトを提供し、繊維食材を活用した食事提供を工夫している。必要に応じ主治医に相談し対応している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日の決まりはなく自由に入浴できる。	曜日の決まりはなく自由に入浴できる。	毎日、午前、午後いつでも入浴の準備がしてある。基本的には週2回の入浴とし、希望があれば自由に入浴支援している。入浴拒否をする利用者には、言葉かけや対応を工夫して入浴を試みている。	

自己	外部	項目	自己評価 (実践状況)		外部評価	
			ユニット名 ( 東 )	ユニット名 ( 西 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状況に応じ、習慣で昼寝をしたり、好きな場所ですつろいでいただいている。なるべく日中の活動を工夫し、よい睡眠がとれるよう支援している。	個々の状況に応じ、習慣で昼寝をしたり、好きな場所ですつろいでいただいている。なるべく日中の活動を工夫し、よい睡眠がとれるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の疾患、それに伴う服薬の用法、用量を把握している。心身状況の変化により薬の内容に変更があった場合は都度、連絡し全職員が把握できている。	利用者様の疾患、それに伴う服薬の用法、用量を把握している。心身状況の変化により薬の内容に変更があった場合は都度、連絡し全職員が把握できている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人、ご家族の話や生活歴の中から楽しみごとになることを見つけ支援につなげている。一人ひとりが生きがいや役割を持って生活できるように支援し、必ず感謝の言葉を伝えている。	ご本人、ご家族の話や生活歴の中から楽しみごとになることを見つけ支援につなげている。一人ひとりが生きがいや役割を持って生活できるように支援し、必ず感謝の言葉を伝えている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お墓参りやカラオケ、外食など希望やペースにあわせてご家族に協力していただきながら支援している。	お墓参りやカラオケ、外食など希望やペースにあわせてご家族に協力していただきながら支援している。	散歩や家族と一緒に出かけたり、友人とカラオケに行ったりと希望に添った支援に努めている。また、利用者の状態に合わせて個別に戸外に出たり、季節に応じてお花見や紅葉を見に行くなど普段は行けないような場所へ出かける機会を作っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	要望と力に応じ支援している。	要望と力に応じ支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や知人からの手紙や電話など自由にできる支援をしている	家族や知人からの手紙や電話など自由にできる支援をしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は皆さんが快適に過ごすことができるよう環境を整備している。季節に応じた飾り付けや花や植物などで会話が弾んだり笑顔のきっかけになるよう工夫している。	共用の空間は皆さんが快適に過ごすことができるよう環境を整備している。季節に応じた飾り付けや花や植物などで会話が弾んだり笑顔のきっかけになるよう工夫している。	2ユニットで共有している、共用空間は明るく広々として利用者の居心地のよい場所になっている。居室、廊下、トイレ、浴室等掃除が行き届き清潔感がある。また、テーブルに座った位置から中庭が見渡せ夏にはトマトなど季節の花等を植えて、季節の移り変わりを感じてもらえるよう努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム内に何箇所かソファがあり、思い思いに自由に過ごすことができる空間がある。	ホーム内に何箇所かソファがあり、思い思いに自由に過ごすことができる空間がある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人やご家族の意向に添い、使い慣れた馴染みのものや仏壇など居室において安心できる場所になるよう工夫している。	ご本人やご家族の意向に添い、使い慣れた馴染みのものや仏壇など居室において安心できる場所になるよう工夫している。	居室にはエアコン、クローゼットが備えてある。ベット、寝具類の他、テレビや鏡台、家族写真等が置かれそのひとらしく、居心地よく過ごせる居室になっている。また、つまづいて転ぶことのないよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「できる事」の継続が可能な環境になるよう、都度職員間で話し合い、個々の状態に合わせて安全に過ごしていただくための工夫をしている。	「できる事」の継続が可能な環境になるよう、都度職員間で話し合い、個々の状態に合わせて安全に過ごしていただくための工夫をしている。		